

平成 25 年度第2回健康食品管理士会東北支部会研修会および市民公開講座のお知らせ

参加費は無料です。皆様お誘い合わせ、ご参加いただけますようご案内申し上げます。

記

日時：平成 25 年 12 月 1 日(日) 13 時 30 分～16 時 30 分

場所：東北福祉大学

〒981-8523 宮城県仙台市青葉区国見 1 丁目 19 番 1 号

東北福祉大学 ステーションキャンパス <http://www.tfu.ac.jp/aboutus/stationcampus.html>

仙台市営バス「JR 東北福祉大前駅」バス停下車 徒歩 0 分

JR 仙山線 「東北福祉大前」駅下車 徒歩 0 分

内容：

13 時 00 分 受付

13 時 30 分 開会の挨拶 東北支部長 杉澤 淳

13 時 35 分 講演「医薬品の効果に影響を与える食品成分について」

平野 和行 先生(日本食品安全協会副理事長、岐阜薬科大学名誉教授)

講演概要：「医薬品間での相互作用は、深く研究されていますが、医薬品と食品（その成分）との相互作用についての研究はそれほど多く報告されていません。食品と医薬品の相互作用を考える場合には、摂取する食品の量と影響を与える食品の成分の強度（作用力）が重要になります。疾病の治療のために、医薬品は服用する化学物質であり、医薬品の性質によって、病気が完治すれば、服用を停止する医薬品と、病気の進行を遅延させることが目的とする医薬品の場合は、一生医薬品を服用することになります。一方で、食品は私たちの体を構成する成分を補い、生理機能を正常に保つために、必要な成分は外部から摂取しなくてはならない。したがって、食品はバランスよく腹八分目で摂取することがよいとされています。近年の研究で、食品の成分で、医薬品の効果が左右される組み合わせが、多く存在し、科学的に解明され、そのような相互作用を回避する手段を説明することが、薬剤師の役割として重要になってきました。今回は、普段よく遭遇する医薬品と食品との相互作用による医薬品の効果の減弱・増強について、例を挙げ、平易に説明する予定です。」

14 時 35 分 質疑応答

14 時 40 分 休憩

14 時 50 分 講演「魚と健康の科学～日本型食生活と水産物の機能性の話しを交えて～」

西川 正純 先生（宮城大学食産業学部・教授）

講演概要：「日本古来の魚を中心とする魚食文化は、日本型食生活として世界に広く認められており、日本人の長寿の源は魚にあるとも言われています。講義では、「お魚と健康の科学」と題し、水産物の機能性、特に脂質成分に焦点を合わせ、魚に特徴的に含まれる DHA（ドコサヘキサエン酸）、EPA（イコサペンタエン酸）の有用性について、発見の経緯から、ライフステージ毎の役割、さらには作用メカニズムに至るまで、詳しく紹介し魚食と健康・長寿との関連性について学んでいきます。」

15 時 50 分 質疑応答

15 時 55 分 閉会挨拶